

「観光」をテーマとした 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時:平成25年6月24日(月)18:30~19:30

場所:ソーホーかごしま

※平成25年度 第2回目

平成25年8月

鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成25年6月24日(月)18:30～19:30

場所：ソーホーかごしま

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	NPO法人 日本予防医学推進協会 男性	① 「鹿児島を健康モデル都市にしよう」をスローガンに活動している。今年の3月には市産業創出課の協力を得て、健康増進の拠点施設をつくったが、ゆくゆくは滞在型の観光拠点にしたいと思っている。 それぞれの人に合わせた健康サポートを行うための滞在型の拠点が増えていけば、医療費や介護費用を抑えることにつながり、観光に携わる人が健康増進にも役立つことになると考えるが、どう思うか。	① 高齢社会において、地域で健康に暮らせる社会づくりというのが求められていると思いますし、ご説明いただいた取り組みは、健康だけでなく、観光や誘客につながると思います。 先日ある国の会議に出席し、日本で医療を受けたいという海外の人が多くいることを知って、日本の医療技術の高さを感じたところです。 健康増進につながり、高齢社会において医療面でも効果のある取り組みだと思っておりますので、今後、しっかり検討・研究していきたいと思っております。	経済局 健康福祉局	(経済局) 現在、着地型観光の推進に向けた調査を行っているところであり、「健康増進」をテーマとした観光につきましても、活用の可能性等を検討してみたいと考えております。 (健康福祉局) 市長回答のとおり
2	NPO法人 ぐるっと鹿児島ネットワーク 男性	② イタリア原産のトマトを栽培し、そのトマトを活用した特産品を作れないかということで活動している。 原産地であるナポリへの渡航費用について、市へ上限50万円の助成金を申請予定であるが、ナポリは姉妹都市でもあるので、市からの新しい支援をお願いしたい。	② 国際交流活動助成事業につきましては、お話がありましたとおり50万円を上限に助成しておりますが、活発な交流を進めるために、取り組みを進めているところです。 現在、青少年の翼事業で、姉妹友好都市に中学生や高校生などを派遣しておりますが、この流れをしっかりと踏まえ、それを拡充していく中で、ナポリ市や他の友好都市と交流していければと考えております。	総務局	※市長回答のとおり
		③ 再来年がナポリと姉妹都市盟約を締結して55周年に当たるが、このトマトを活用して何かできないか、積極的に取り組んでいるところである。55周年の実行委員会に市長にも参加していただきたいし、やる気のある市職員を派遣していただきたい。 また、市のほうでは、55周年に向けて何か企画等を考えているのか。	③ 鹿児島がどのような街かということを知ってもらいたいということで、イタリア大使館や文化協会を通じて取り組んでおり、イタリアの行政も動いてくれてますが、民間との交流は少ない現状にあります。これからは、行政同士ではなく、民間での取り組みを1つの礎としてこれまでの歴史を見つめなおす、よい機会になると思います。 ナポリ市との姉妹都市盟約55周年に向けては、まだどういことをするかは決まっておりませんが、国際観光都市を標榜する鹿児島市として、民間の方を入れた組織づくりに取り組んでいるところであり、その中で、民間の方の意見を取り入れたいと考えております。皆さまの知恵をお借りすることもあるかもしれませんが、ご協力をお願いしたいと思います。	総務局	※市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成25年6月24日(月)18:30～19:30

場所：ソーホーかごしま

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	NPO法人 かごしまル ネッサンス 男性	④ 桜島大根の栽培を桜島で行っているが、栽培や出荷の際に利用する桜島フェリーの運賃を、一部でも助成してもらえないか。	④ 桜島フェリーについては、様々な企業努力を行っておりますが、石油の価格次第で黒字分が吹き飛んでしまうような状況にあります。企業体として健全運営を維持するためにも、フェリー代の助成については、大きな検討材料であると考えております。	船舶局 経済局	<p>(船舶局) 運賃の助成制度等については、特定の地域(桜島地区)の住民のみが優遇され、市民間に不公平なサービスとなることや、運航収益の減少につながる等から、制度の新設は困難であると考えております。</p> <p>なお、フェリー代割引については、旧桜島町時代の自家用自動車通勤費及び自動車航送料の助成制度に代わり、3m以上5m未満の自動車航送運賃回数券の割引率を、合併前の16.7%から、合併後は28.6%と大幅に拡大しました。また、通勤、通学定期券の割引率についても、それぞれ55%、85%に設定し、他の交通事業者よりも高い割引率となっております。</p> <p>(経済局) 現在、本市においては各地域の特性を生かした園芸作物の産地育成を図るため、特産農産物育成事業を実施しており、桜島地域の特産物である桜島大根につきましても、生産資材の購入経費に対し助成を行っております。</p> <p>桜島地域には、桜島大根だけに限らず、桜島小ミカンやびわなどの特産物があり、ご要望のフェリー運賃の一部助成はできないところでございます。</p>
		⑤ 湯之平展望所から見た鹿児島湾の景色は素晴らしい観光資源であると思うが、展望所は5時ぐらいで閉まってしまい、夜は暗いので、レストランを作り、フェリーやバスを運動させ、夜8時ぐらいまで営業してはどうか。	⑤ 湯之平展望所の一番の悩みは、水を運ぶのが困難なことです。費用対効果を考え、多くの人が来られるということであれば、検討していきたいと思っております。	経済局	湯之平展望所については、現在、来訪状況調査を行っており、その結果や費用対効果を踏まえて検討していきたいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成25年6月24日(月)18:30～19:30

場所：ソーホーかごしま

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
		⑥ 鹿児島市内の人があまり桜島に行っていないので、多くの人が行くように、助成してはどうか。	⑥ 活火山桜島とその前に広がる波静かな錦江湾は、世界に誇れる鹿児島の魅力であり、災害の危険性もありますが、観光拠点として取り組むべき資産であります。その魅力を国内外に発信する取り組みをしておりますが、皆さまの知恵をお借りしながら、さらなる情報発信に努めてまいりたいと思います。	経済局 市民局 船舶局	<p>(経済局) 桜島については、その魅力を国内外に発信するため、ジオパーク認定への取組を進めているところであり、ジオツアーなどその魅力を改めて市民に情報発信し、周知を図ることとしておりますので、自主的に訪れていただきたいと考えております。</p> <p>(市民局) 「かごしま再発見地域めぐり事業」、「市域内交流事業」などを開催し、桜島の魅力や情報を市民の方へ知って頂く機会を設けております。</p> <p>(船舶局) 運賃の助成制度等については、特定の地域(桜島地区)の住民のみが優遇され、市民間に不公平なサービスとなることや、運航収益の減少につながる等から、制度の新設は困難であると考えております。 なお、フェリー代割引については、旧桜島町時代の自家用自動車通勤費及び自動車航送料の助成制度に代わり、3m以上5m未満の自動車航送運賃回数券の割引率を、合併前の16.7%から、合併後は28.6%と大幅に拡大しました。また、通勤、通学定期券の割引率についても、それぞれ55%、85%に設定し、他の交通事業者よりも高い割引率となっております。</p>
		⑦ 観光客が降灰にあった時は、温泉の入浴券を配布してはどうか。	⑦ 入浴券の配布については素晴らしいアイデアだと思いますが、どのような方を観光客と認定するのか、対象をしぼるのが難しいのではと思います。	経済局	対象者の特定が困難であることや入浴料が安価であることなどから、市で実施することは考えておりません。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成25年6月24日(月)18:30～19:30

場所：ソーホーかごしま

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	日高民謡・薩州会 女性	⑧ 民謡の指導を45年しているが、郷土芸能をする若い人が少ない状況にある。市が郷土芸能の講座をしてもらえば、若い人に興味を持ってもらえるのではないか。	⑧ 地域伝統文化が継承されないことが危惧されておりますが、地域に根付いた資源を掘り起こし、文化薫る鹿児島市にしていくためのプランを作成して、25年度より取り組んでおります。 伝統芸能を若い世代に引き継いでいくことは大変ですが、重要なことですので、伝統芸能を地域の資産と位置づけ、文化薫る地域の魅力づくりプランの中で、講座等の開催も含めて進めていければと思っております。	教育委員会	本市におきましては、各地域公民館で郷土の歴史や文化、伝統芸能等についての講座開設や、関連する自主学習グループの学習活動の支援に取り組んでいます。 また、これまで永年にわたって育まれてきた伝統芸能や祭り、風物詩といった地域資源を掘り起こし、市民協働による取組のひとつとして文化薫る地域の魅力づくりプラン推進事業に取り組んでいます。その中で、本年度は、児童生徒を主な対象として地域伝統芸能の伝承と演技レベルの向上につなげる「伝統芸能伝承キッズ隊サマーキャンプ」の開催などを予定しているところでございます。今後とも、各地域で活躍されている人材やグループ等と連携を図りながら、講座開設や継承活動の支援に努めてまいります。
		⑨ 全国の民謡交換会を自分の店で行ったり、ホテルで郷土芸能を県外客に披露している。他都市では県や市で郷土芸能を披露する場所を設けているようであるが、鹿児島市でもそのような場所を設置すれば、若い人にも興味を持ってもらえて、郷土芸能が盛んになり、継承されていくのではないか。	⑨ 郷土芸能の披露の場につきましては、市の施設を活用していただければと思います。施設の紹介ができるよう、教育委員会など各部署へも伝えたいと思います。	教育委員会 経済局	(教育委員会) 本市におきましては、生涯学習推進に係る各種のイベントや地域総合文化祭等の開催において、サンエールかごしまや地域公民館を郷土芸能の披露の場として活用いただいています。 今後このような市の施設を活用いただくとともに、例年実施してきているふるさと芸能祭に加え、文化薫る地域の魅力づくりプランに基づくイベント等において、郷土芸能を披露する機会を増やし、市民の皆様にも広く認識していただくことで郷土芸能の伝承につなげてまいります。 (経済局) 郷土芸能を披露する場につきましては、おはら祭で伝統芸能の披露を行っているほか、火の島祭りで地域芸能の披露を行っているところであります。 今後とも各種イベント等で披露できないかを検討してまいりたいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成25年6月24日(月)18:30～19:30

場所：ソーホーかごしま

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	NPO法人 日本予防医学推進協会 女性	⑩ 鹿児島県の野菜を使ったデザートを提供するなど、食生活の改善によるアンチエイジングの取組を行っているが、そういった活動への助成はできないか。	⑩ NPO法人の活動に対する補助は、市民局で行っております。鹿児島県のまちづくりに活かしていきたい取り組みがございましたら、提案していただければ、まちづくりに貢献する取り組みであるかを検討して、賛同できれば補助をいたしますので、ご活用いただきたいと思っております。	市民局	本市では、市民と行政との協働によるまちづくりを進めるため、公益的なサービスを提供とするNPOや町内会等の市民活動団体の活動に対し、経費の一部を助成する「市民とつくる協働のまち事業」を実施しております。 補助事業は、公募により募集を行い、選考審査会で審査を行った上で、決定しております。募集期間等については、市民のひろばや市のホームページ等でお知らせいたしますので、応募についてご検討いただきたいと思います。
6	日高民謡・薩州会 女性	⑪ イベントの司会をしているが、県外の方が出席されるパーティなどで司会をすると、鹿児島に関する知識が必要だと感じる。 司会者を対象とした観光等の知識を学べる講座はないのか。	⑪ 司会業の方向けの講座は特別にはしていませんが、ボランティアでまち歩きの案内をされる方向けの研修会はしております。また、鹿児島商工会議所で鹿児島に関する検定を行っています。 観光コンベンション協会で、まち歩きのボランティアへの研修と同様のことができるようであれば、話をしておきたいと思っております。	経済局	本市においては、官民一体となったおもてなしの向上を図るため、市内の団体(学校や町内会、事業者、NPO等)が観光資源やおもてなしに関する研修会を実施する際に、鹿児島県の観光リーダーとして、各分野において専門的な知識をもつ講師を派遣する取組を行っています。 また、鹿児島県の魅力について学ぶことができる有料のまち歩きを年間を通して実施しているほか、市民向けのまち歩きを無料で実施する機会もありますので、そのような機会をご活用いただければと考えております。
7	NPO法人 かごしまルネッサンス 女性	⑫ 大島紬を着て歩く「きもんでさるく」というイベントを、天文館や仙巖園など、これまでに8回行ってきており、Facebookなどでも情報発信を行っている。 市長がトップセールスをされる場合は、鹿児島市のことだけでなく、大島紬など県全体をアピールしてほしい。	⑫ 鹿児島県の伝統工芸品については、県下43市町村でしっかりとした取り組みをしております。私自身、いろいろな場面で大島紬を着ておりますが、海外に行く際は、必ず大島紬で会合に出席するようにしております。鹿児島県のすばらしい伝統工芸品をアピールすることが、県全体をアピールすることになりますので、これからも、いろいろな機会で大島紬をしていきたいと思っております。	経済局	※市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成25年6月24日(月)18:30～19:30

場所：ソーホーかごしま

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	NPO法人 日本予防医学推進協会 女性	⑬ アンチエイジングの活動を9年間行っているが、なかなか自分たちのことを知ってもらえないので、広報について協力してほしい。	⑬ 健康を産業として、また、観光の題材としているすばらしい取り組みであると思いますし、1つの観光資源となれば、多くの人に鹿児島に来てもらえる機会ができると思っております。 この取り組みをまちづくりにどうつなげていけるか、研究していきたいと思っております。	市民局 健康福祉局 経済局	(市民局) NPO法人が主催するイベント等については、周知依頼があった場合、市のホームページに掲載しておりますので、イベント等を開催する際は、ご相談ください。 (健康福祉局) 健康増進計画に基づく健康づくりを協働で推進する「鹿児島市健康づくり推進市民会議参加団体(NPO法人日本予防医学推進協会を含む78団体)」の健康づくりに関する取組やイベント情報については、「健康ニュース(市民会議会報)」を年3回発行し、市民会議参加団体、支所、保健センター、町内会回覧等へ配布するとともに、ホームページに掲載するなど、情報の周知・広報に努めております。 (経済局) 現在、着地型観光の推進に向けた調査を行っているところであり、「アンチエイジング」をテーマとした観光につきましても、活用の可能性等を検討してみたいと考えております。
9	NPO法人 ぐるっと鹿児島ネットワーク 男性	⑭ トマトの栽培方法について原産地のナポリに勉強に行ったり、収穫祭や試食会を行うなどして、小さいながらナポリとの接点を持つ取り組みを行っている。 先ほど、行政と民間による国際交流の組織を作るとのお話があったが、その際はぜひ我々も参加させてほしい。	⑭ 4つの姉妹都市のうち、ナポリ市は歴史は長いのですが、交流が少ない状況にあります。日本からイタリアには多くの人が行きますが、イタリアから日本に来る人は少ないので、何かのきっかけでナポリから鹿児島へ来ていただくよう取り組みを進めているところです。ナポリ市原産のトマトを使った取り組みが鹿児島にあることをお知らせすることで、鹿児島に親近感を持ってもらえるのではと思っております。	総務局	※市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成25年6月24日(月)18:30~19:30
場所:ソーホーかごしま

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	NPO法人 日本予防医学推進協会 女性	⑮ 我々の団体で観光について取り組んでいるが、なかなか進まないのが現状である。 長崎では中国の富裕層向けに観光に健康を加えたツアーを行っているので、実施のために、市の力をお借りできないか。 行政やホテル、ツアー会社と一緒に頑張って、鹿児島を盛り上げ、観光客を呼ぶ手立てがあると思うので、ぜひお願いしたい。	⑮ 九州新幹線が全線開通し、これまでで最高の観光客数になりましたが、一過性ではなく継続的に誘致するためには、新たな流行を創出する必要があると思います。鹿児島が魅力あるまちであることは定着しておりますが、リピーターを掘り起こすには、我々行政をはじめ、民間でも取り組みが必要です。 お話がありました健康をキーワードに観光につなぐという取り組みは、新たな取り組みであり、海外でも注目されていますので、皆さまにも観光関係の団体へアピールしていただき、我々も機会があれば話をしたいと思います。	経済局	※市長回答のとおり